メタデータ	言語: Japanese
	出版者: 海上保安大学校
	公開日: 2024-01-09
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 山地, 哲也
	メールアドレス:
	 所属: 海上保安大学校
URL	https://doi.org/10.15053/0002000037

【研究ノート】

船舶の避難場所に関する研究 一ヘルシンキ委員会の対応—

Study on Issues relating to Places of Refuge for Ships: Measures by Helsinki Commission (HELCOM)

山地 哲也 Tetsuya YAMAJI

1 はじめに

船舶の避難場所に関する研究の一環として筆者は、2015年3月に発 表した論文(山地(2015))の一つの章に「地域海計画での対応」を設定し、 地域海計画の一例として欧州のバルト海を対象とするヘルシンキ委員会 (HELCOM: Helsinki Commission)を取り上げ、ヘルシンキ委員会の避 難場所に係る対応について「バルト海域の海洋環境保護に関する条約」(へ ルシンキ条約)、「ヘルシンキ条約附属書IV」、「バルト海域における避難場 所に関する相互計画」、「ヘルシンキ委員会海洋汚染対応協力マニュアル」 等を概説した1)。ヘルシンキ委員会の避難場所に係る対応の特徴は、ヘル シンキ委員会加盟国の一国のみでは要支援船舶の避難場所への収容が困 難となる場合を想定し、加盟国間の引継等の体制を策定する等、避難場 所に係る協力枠組みを設定していることである。これは避難場所に係る 国際的又は地域的協力を推進するための先進的モデルとなり得ると考え る。ヘルシンキ委員会加盟国間の海洋汚染対応協力について規定する「ヘ ルシンキ委員会海洋汚染対応協力マニュアル」は、山地(2015)発表後の 2021年3月に改訂が行われている。このため本稿は、ヘルシンキ委員会 による避難場所対応についてアップデートを図ることを目的として、改 めて関連文書の整理を行うこととする。

本稿は次の構成とする。2 においては地域海計画及びヘルシンキ委員

会の概要を示す。3においてはヘルシンキ委員会の基本条約であるヘルシンキ条約を整理する。ヘルシンキ条約には7つの附属書があり、4において附属書IV及び附属書VIIの避難場所に関係する規定を整理する。5においてヘルシンキ委員会による避難場所に関連する勧告を整理する。6では避難場所に係るヘルシンキ委員会加盟国間の協力の枠組みを規定するヘルシンキ委員会海洋汚染対応協力マニュアルを整理する。関係文書の整理に当たっては今後の研究に資するよう避難場所の文言を有する規定に限定するものではなく、ヘルシンキ委員会の意義等を含めた規定も取り上げ、また英語原文及び筆者私訳により整理する。

2 地域海計画及びヘルシンキ委員会の概要

世界の半閉鎖海域等の海洋環境を保護するために地域海計画 (Regional Seas Programme)が策定されている。これらは現在、13の地域海計画(カリブ海域、東アジア海域、東アフリカ海域、地中海、北西太平洋海域、西アフリカ海域、カスピ海、黒海、北東太平洋海域、紅海・アデン湾、ペルシャ湾、南アジア海域、南東太平洋海域、太平洋、南極海、北極海、バルト海、北東大西洋)がある²⁾。

ヘルシンキ委員会(HELCOM: Helsinki Commission)は、政府間協力を通じたバルト海におけるすべての汚染源に係る海洋環境保護を目的とする「バルト海域の海洋環境保護に関する条約」(ヘルシンキ条約)の管理団体として設立されている。最初のヘルシンキ条約は、1974年に採択され、1980年5月に発効した。現行のヘルシンキ条約(Convention on the Protection of the Marine Environment of the Baltic Sea Area, 1992)は、1992年に採択、2000年1月に発効し、7つの附属書を有している。ヘルシンキ条約には、デンマーク、エストニア、フィンランド、ドイツ、ラトビア、リトアニア、ポーランド、ロシア、スウェーデン及び欧州連合が加盟する 3 。

3 ヘルシンキ条約4)

ヘルシンキ委員会の基本条約であるヘルシンキ条約の主要規定につい

て英語原文及び筆者私訳を表-1 に整理する。

表-1: ヘルシンキ条約

Article 1 Convention Area This Convention shall apply to the Baltic Sea Area. For the purposes of this Convention the "Baltic Sea Area" shall be the Baltic Sea and the entrance to the Baltic Sea bounded by the parallel of the Skaw in the Skagerrak at 57° 44.43° N. It includes the internal waters, i.e., for the purpose of this Convention waters on the landward side of the base lines from which the breadth of the territorial sea is measured up to the landward limit according to the

A Contracting Party shall, at the time of the deposit of the instrument of ratification, approval or accession inform the Depositary of the designation of its internal waters for the purposes of this Convention.

designation by the Contracting Parties.

Article 2 Definitions

For the purposes of this Convention:

- 1. "Pollution" means introduction by man, directly or indirectly, of substances or energy into the sea, including estuaries, which are liable to create hazards to human health, to harm living resources and marine ecosystems, including fishing, to impair the quality for use of sea water, and to lead to a reduction of amenities:
- 2. "Pollution from land-based sources" means pollution of the sea by point or diffuse inputs from all sources on land reaching the sea waterborne, airborne or directly from the coast. It includes pollution from any deliberate disposal under the seabed with access from land by tunnel, pipeline or other means:
- 3. "Ship" means a vessel of any type whatsoever operating in the marine environment and includes hydrofoil boats, air-cushion vehicles, submersibles, floating craft and fixed or floating platforms;

4. ~5. 【略】

- 6. "Oil" means petroleum in any form including crude oil, fuel oil, sludge, oil refuse and refined products;
- 7. "Harmful substance" means any substance, which, if introduced into the sea, is liable to cause pollution;
- 8. "Hazardous substance" means any harmful substance which due to its intrinsic properties is persistent, toxic or liable to

筆者私訳 第1条 条約の適用範囲

この条約は、バルト海域に適用する。この条約に おいて、「バルト海域」とは、バルト海及びスカ ゲラク (Skagerrak) 海峡にあるスカウ (Skaw)⁵¹の 北緯 57°44.43'の緯線により囲まれるバルト海 への入口部を言う。この条約においてこの海域に は、締約国が指定する領海の幅を測定するための 基線の陸域側の水域である内水を含む。

締約国は、この条約の批准、承認又は加入に係る 文書の寄託時点において、寄託者に対しこの条約 の適用のための内水の指定を通知しなければな らない。

第2条 定義

この条約において、次の各号に掲げる用語の意義 は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- 1. 「汚染」とは、人の健康に対する危険を生じさせ、漁業活動を含む生存に係る資源及び海洋の生態系を害し、海水利用の質を損ない、快適性の減少につながる人による直接的又は間接的な物質又はエネルギーの海洋(河口を含む)への導入を意味する。
- 2. 「陸上源からの汚染」とは、水上若しくは上空で運ばれ、又は、直接的に沿岸から到達する陸上を原因とする点源若しくは拡散導入による海の汚染を意味する。これにはトンネル、パイプライン又はその他の手段による陸上からの到達により海底下への意図的な処分による汚染を含む。
- 3. 「船舶」とは、海洋環境において運航するあらゆる種類の船舟類を意味する。これには、ホバークラフト、潜水艇、フローティングクラト及び固定された又は浮上しているプラットフォームを含む。

4. ~5. 【略】

- 6. 「油」とは、原油、燃料油、スラッジ、廃油 及び精製油を含むあらゆる形態の石油を意味す る。
- 7. 「有害物質」とは、海上に流出した場合に汚染を生ずるあらゆる物質を意味する。
- 8. 「危険物質」とは、その本質的な特性により 持続性、有毒性を有し、又は、生物に蓄積する性 質を有するあらゆる有害物質を意味する。

bio-accumulate;

9. "Pollution incident" means an occurrence or series of occurrences having the same origin, which results or may result in a discharge of oil or other harmful substances and which poses or may pose a threat to the marine environment of the Baltic Sea or to the coastline or related interests of one or more Contracting Parties, and which requires emergency actions or other immediate response;

10. 【略】

11. The "Commission" means the Baltic Marine Environment Protection Commission referred to in Article 19.

- 1. The Contracting Parties shall individually or jointly take all appropriate legislative, administrative or other relevant measures to prevent and eliminate pollution in order to promote the ecological restoration of the Baltic Sea Area and the preservation of its ecological balance.
- 2. The Contracting Parties shall apply the precautionary principle, i.e., to take preventive measures when there is reason to assume that substances or energy introduced, directly or indirectly, into the marine environment may create hazards to human health, harm living resources and marine ecosystems, damage amenities or interfere with other legitimate uses of the sea even when there is no conclusive evidence of a causal relationship between inputs and their alleged effects.

3. 【略】

- 4. The Contracting Parties shall apply the polluter-pays principle.
- 5. The Contracting Parties shall ensure that measurements and calculations of emissions from point sources to water and air and of inputs from diffuse sources to water and air are carried out in a scientifically appropriate manner in order to assess the state of the marine environment of the Baltic Sea Area and ascertain the implementation of this Convention.
- 6. The Contracting Parties shall use their best endeavours to ensure that the implementation of this Convention does not cause transboundary pollution in areas outside the Baltic Sea Area. Furthermore, the relevant measures shall not lead either to unacceptable environmental strains on air quality and the atmosphere or on waters, soil and ground water, to unacceptably harmful or increasing waste disposal, or to increased risks to human health.

9. 「汚染事件」とは、一つの出来事若しくは同一の原因を有する一連の出来事のうち、油若しくはその他の有害物質を排出させるか若しくはそのおそれがあるもので、バルト海の海洋環境若しくは一国若しくはそれ以上の締約国の沿岸若しくは関連利益を脅かし、又は、脅かすおそれがあり、緊急行動その他の迅速な対応を必要とするものをいう。

10. 【略】

11. 「委員会」とは、第19条に規定するバルト海海洋環境保護委員会を意味する。

第3条 基本的原則及び義務

- 1. 締約国は、バルト海域の生態的回復及びバランスの保護を促進するために、汚染を防止し、並びに、除去するすべての適切な法的、行政的又はその他の関連する措置を単独又は共同で実施しなければならない。
- 2. 締約国は、海洋環境に直接的若しくは間接的 に導入した物質若しくはエネルギーにより人の 健康に危険をもたらし、生存に係る資源及び海洋 の生態系を害し、快適性に損害を与え、又は、そ の他の海洋の正当な利用を妨げる可能性がある と推測する理由がある場合には、その原因と予測 が存在しない場合であっても、防止措置を行うた めに予防原則を適用しなければならない。

3. 【略】

- 4. 締約国は、汚染者負担の原則を適用しなければならない。
- 5. 締約国は、バルト海域の海洋環境の状態を評価し、この条約の実行を確認するために、点源から水域及び大気への放出及び拡散源から水域及び大気への導入の測定並びに計算が科学的に適当な方法で実施されることを確保しなければならない。
- 6. 締約国は、この条約の実行によりバルト海域 以外の区域に汚染を移転させないことを確保す るよう最善を尽くさなければならない。さらに適 切な措置をとることにより、大気質及び大気若し くは水、土壌並びに地下水に係る容認できない環 境上の重圧をもたらし、容認できない有害若しく は増大する廃棄物の処分をもたらし、又は、人の 健康に対するリスクの増大をもたらすものであ ってはならない。

第4条~第7条【略】

Article 4~Article 7【略】

Article 4 Article / [時]	- 第4宋 ¹ ○第4宋【昭】
Article 8 Prevention of pollution from ships	第8条 船舶からの汚染の防止
1. In order to protect the Baltic Sea Area from	1. 船舶からの汚染からバルト海域を保護する
pollution from ships, the Contracting Parties	ために、締約国は、附属書IVに規定する措置を行
shall take measures as set out in Annex IV.	わなければならない。
2. The Contracting Parties shall develop and	2. 特にバルト海域を航行する旅客船に係る特
apply uniform requirements for the provision of	別の必要性を考慮し、締約国は、船舶において発
reception facilities for ship-generated	生する廃棄物の受入施設の提供に係る統一的な
wastes, taking into account, inter alia, the	要件を策定し、及び、適用しなければならない。
special needs of passenger ships operating in	X11 270,020 1 700 1 70,000 1 7
the Baltic Sea Area.	
Article 9~Article 12【略】	第 9 条~第 12 条
	第13条 汚染事故に係る通知および協議
Article 13 Notification and consultation on	另 10 米 内架争队に休る旭和ねよい励識
pollution incidents	1
1. Whenever a pollution incident in the	1. 締約国の領域で発生した汚染事故により国
territory of a Contracting Party is likely to	際法に従い主権及び管轄権を行使するその領域
cause pollution to the marine environment of the	の外並びに隣接海域のバルト海域の海洋環境に
Baltic Sea Area outside its territory and	汚染を発生させる可能性がある場合には、当該締
adjacent maritime area in which it exercises	約国は遅滞なく影響を受け、又は、影響を受ける
sovereign rights and jurisdiction according to	可能性のある締約国に通知しなければならない。
international law, this Contracting Party shall	
notify without delay such Contracting Parties	
whose interests are affected or likely to be	
affected.	
2. Whenever deemed necessary by the Contracting	2. パラグラフ1に規定する(影響を受け、又は、
Parties referred to in paragraph 1,	影響を受ける可能性のある)締約国により必要と
consultations should take place with a view to	考えられる場合には、このような汚染を防止、軽
preventing, reducing and controlling such	減及びコントロールするために協議が実施され
pollution.	るべきである。
3. Paragraphs 1 and 2 shall also apply in cases	3. パラグラフ1及び2は、締約国が第三国の領
where a Contracting Party has sustained such	域から発生する汚染を被る場合に適用する。
pollution from the territory of a third state.	
Article 14 Co-operation in combatting marine	第 14 条 海洋汚染対応に係る協力
pollution	
The Contracting Parties shall individually and	締約国は、バルト海域の海洋環境に対する事故の
jointly take, as set out in Annex VII, all	結果を除去又は最小化することについて、十分な
appropriate measures to maintain adequate	対応能力を維持し、及び、汚染事故に対応するた
ability and to respond to pollution incidents	めに、附属書VIIの規定に従い、適切な措置を単独
in order to eliminate or minimize the	又は共同で実施しなければならない。
consequences of these incidents to the marine	-
environment of the Baltic Sea Area.	
Article 15~Article 18【略】	第 15 条~第 18 条【略】
Article 19 Commission	第19条 ヘルシンキ委員会
1. The Baltic Marine Environment Protection	1. バルト海環境保護委員会(ヘルシンキ委員
Commission, referred to as "the Commission", is	会)は、この条約のために設立される。
established for the purposes of this	2
Convention.	
2. ~5. 【略】	2. ~5. 【略】
Article 20 The duties of the Commission	第 20 条 ヘルシンキ委員会の義務
1. The duties of the Commission shall be:	1. ヘルシンキ委員会の義務は、次の各号に掲げ
1. The duties of the Commission Shall be-	
a) to keep the implementation of this Commuti	る通りとする。
a) to keep the implementation of this Convention	a) 継続的な管理の下でこの条約の実行を図る
under continuous observation;	こと。
b) to make recommendations on measures relating	b) この条約の目的に関連する措置に係る勧告
to the purposes of this Convention;	を行うこと。

- c) to keep under review the contents of this Convention including its Annexes and to recommend to the Contracting Parties such amendments to this Convention including its Annexes as may be required including changes in the lists of substances and materials as well as the adoption of new Annexes;
- d) to define pollution control criteria, objectives for the reduction of pollution, and する基準及び措置)に規定する汚染コントロール objectives concerning measures, particularly those described in Annex III;
- e) to promote in close co-operation with appropriate governmental bodies, taking into consideration sub-paragraph f) of this Article, additional measures to protect the marine environment of the Baltic Sea Area and for this purpose:
- disseminate relevant scientific, technological and statistical information from available sources; and
- ii) to promote scientific and technological research; and
- f) to seek, when appropriate, the services of competent regional and other international organizations to collaborate in scientific and technological research as well as other relevant activities pertinent to the objectives of this Convention.
- functions as it deems appropriate to further the | 達成のために適当を考えられる他の機能を保有 nurposes of this Convention.

c) 条約(附属書を含む)の内容について見直し を行うこと、並びに、新たな附属書の採択並びに 物質及び材料のリストの変更に係る条約(附属書 を含む)の必要な改正について加盟国に勧告を行 うこと。

d) 特に附属書Ⅲ(陸上源からの汚染の防止に関 基準、汚染削減目標及び関係する目標を定義する

e) 本条サブパラグラフ f)を考慮し、適当な政府 機関と緊密に協力し、バルト海域の海洋環境を保 護するために追加的措置を促進し、及び、この目 的を達成するために次の各号に掲げる事項を実 施すること。

- i) to receive, process, summarize and i) 利用可能な原典から関係する科学的、技術的 及び統計的情報を受領し、加工し、要約し、並び に、普及すること。
 - ii) 科学的及び技術的研究を促進すること。
 - f) 適当な場合には、科学的及び技術的研究、ま た、この条約の目的に合致する他の適当な活動に 係る共同研究を行うために、的確な地域機関及び その他の国際機関の事業を探求すること。
- 2. The Commission may assume such other 2. ヘルシンキ委員会は、この条約の更なる目的 ナス

parposes of this convention.	7 00
Article 21~Article 27【略】	第21条~ 第27条【略】
Article 28 Status of Annexes	第28条 附属書の地位
The Annexes attached to this Convention form an	この条約の附属書は、この条約に不可分なものと
integral part of this Convention.	する。
Article 29~Article 38【略】	第 29 条~第 38 条【略】

4 ヘルシンキ条約附属書®

ヘルシンキ条約は、次の7つの附属書を有する。 L記3において整理 したヘルシンキ条約第28条では「附属書の地位」として「この条約の附 属書は、この条約に不可分なものとする」旨規定する。

附属書 I:有害物質(Harmful substances)

附属書Ⅱ:最善環境実行及び最善適用技術の利用の基準(Criteria for the use of Best Environmental Practice and Best Available Technology)

附属書Ⅲ:陸上源からの汚染の防止に関する基準及び措置(Criteria

and measures concerning the prevention of pollution from land-based sources)

附属書IV:船舶からの汚染の防止(Prevention of pollution from ships)

附属書V:バルト海における廃棄物及びその他の物質の投棄に係る一

般的禁止の例外(Exemptions from the general prohibition of dumping of waste and other matter in the Baltic Sea Area)

附属書VI: 沖合活動からの汚染の防止(Prevention of pollution from offshore activities)

附属書VII: 汚染事件への対応(Response to pollution incidents)

附属書Ⅳ及び附属書Ⅶに避難場所及び加盟国の協力に関係する事項を 規定している。附属書Ⅳ及び附属書Ⅶの関係規定の英語原文及び筆者私 訳を表-2及び表-3に整理する。

表-2:ヘルシンキ条約附属書IV:船舶からの汚染の防止(Prevention of pollution from ships)

英語原文	筆者私訳
Regulation 1 Co-operation	第1規則 協力
The Contracting Parties shall, in matters	締約国は、船舶による汚染からバルト海域を保
concerning the protection of the Baltic Sea Area	護することについて次の各号に掲げる事項につ
from pollution by ships, co-operate:	いて協力しなければならない。
a) within the International Maritime	a) 附属書Ⅱで定義される最善適用技術及び最
Organization, in particular in promoting the	善環境実行の利用促進を含む本条約の基本原則
development of international rules, based,	並びに義務に基づき、特に国際ルールの策定の促
inter alia, on the fundamental principles and	進について国際海事機関の枠組みの下で行うこ
obligations of this Convention which also	٤.
includes the promotion of the use of Best	
Available Technology and Best Environmental	
Practice as defined in Annex II;	b) IMOで採択されたルールを効果的かつ協調し
b) in the effective and harmonized	た方法で実行すること。
implementation of rules adopted by the	
International Maritime Organization.	
Regulation 2~Regulation 11【略】	第2規則~第11規則【略】
Regulation 12 Places of refuge	第 12 規則 船舶の避難場所
The Contracting Parties:	締約国は、次の各号に掲げる事項を実施する。
a) shall, following-up the work of EC and IMO,	a) 欧州共同体及びIMOの検討結果を踏まえ、海
draw up plans to accommodate, in the waters	難船舶が権限ある当局の許可に従い、早期に避難
under their jurisdiction, ships in distress in	場所へ入域できることを確保するよう、海難船舶
order to ensure that ships in distress may	をその管轄下にある水域に収容するための計画
immediately go to a place of refuge subject to	を立案しなければならない。
authorisation by the competent authority; and	
b) shall exchange details on plans for	b) 海難船舶の収容に関する計画の内容を相互
accommodating ships in distress.	に交換しなければならない。

表 - 3: ヘルシンキ条約附属書WI: 汚染事件への対応(Response to pollution incidents)

筆者私訳 Regulation 1 General Provisions 第1規則

- 1. The Contracting Parties undertake to maintain the ability to respond to pollution incidents threatening the marine environment of the Baltic Sea Area. This ability shall include adequate equipment, ships and manpower prepared for operations at sea or on the shore.
- a) In addition to the incidents referred to in Article 13 the Contracting Party shall also notify without delay those pollution incidents occurring within its response region, which affect or are likely to affect the interests of other Contracting Parties.
- b) In the event of a significant pollution incident other Contracting Parties and the Commission shall also be informed as soon as possible.
- 3. The Contracting Parties agree that subject to their capabilities and the availability of relevant resources, they shall co-operate in responding to pollution incidents when the severity of such incidents so justify.
- 4. In addition the Contracting Parties shall take other measures to:
- a) conduct regular surveillance outside their coastlines; and
- otherwise co-operate and exchange information with other Contracting Parties in order to improve the ability to respond to pollution incidents.

Regulation 2 Contingency Planning

Each Contracting Party shall have a national contingency plan for response to pollution incidents at sea. Each Contracting Party shall also, as appropriate, have contingency plans for response on the shore. Such plans may be combined.

The Contracting Parties shall, as appropriate, have bilateral or multilateral plans for joint response to pollution incidents.

Regulation 3 Surveillance

- 1. In order to prevent violations of the existing regulations on prevention of pollution from ships the Contracting Parties shall develop and apply individually or in co-operation, surveillance activities covering the Baltic Sea Area in order to spot and monitor oil and other substances released into the sea.
- 2. The Contracting Parties shall undertake measures to conduct appropriate the surveillance referred to in Paragraph 1 by

一般的規定

1. 締約国は、バルト海域の海洋環境に脅威を及 ぼす汚染事故に対応する能力を維持することを約 東する。この能力は、海上又は海岸でのオペレー ションに係る十分な機材、船舶及び人員を含むも のでなければならない。

- a) ヘルシンキ条約第 13 条に規定する事故に加 え、締約国は、他の締約国の利益に影響を及ぼし、 又は、及ぼす可能性のあるその対応域内において 発生した汚染事故についても遅滞なく通知しなけ ればならない。
- b) 大規模な汚染事故が発生した場合には、他の 締約国及びヘルシンキ委員会にも可能な限り早期 に通知されなければならない。
- 3. 締約国は、汚染事件の重大性が認められる場 合には、その能力及び関連する資源の利用可能性 に従い、汚染事故対応に協力しなければならない ことに合意する。
- 4. これに加え締約国は、次の各号に掲げるその 他の措置を実施しなければならない。
- a) 海岸線を越えた定期的な上空監視
- b) 汚染事件への対応能力を改善するための他の 締約国とのその他の協力及び情報交換

第2規則 緊急時計画

各締約国は、海上における汚染事件対応に係る国 の緊急時計画を保有しなければならない。各締約 国はまた、必要に応じ海岸における対応に係る緊 急時計画を保有しなければならない。これら計画 は、結合することができる。

締約国は、必要に応じ汚染事件への共同対応に係 る二国間、又は、多数国間の計画を保有しなけれ ばならない。

第3規則 監視

- 船舶からの汚染防止に係る現行規則の違反を 防止することを目的として、締約国は、バルト海 域に流出する油及びその他の物資を発見し、並び に、監視するために、単独で、又は、協力してバ ルト海域を対象とする監視活動を展開及び適用し なければならない。
- 締約国は、パラグラフ1に規定する監視活動 を実施するために、特に遠隔測定システムを装備 した上空監視を利用することにより、適当な措置

using, inter alia, airborne surveillance equipped with remote sensing systems.

を実施しなければならない。

Regulation 4 Response Region

The Contracting Parties shall as soon as possible agree bilaterally or multilaterally on those regions of the Baltic Sea Area in which they shall conduct surveillance activities and take action to respond whenever a significant pollution incident has occurred or is likely to occur. Such agreements shall not prejudice any other agreements concluded between Contracting Parties concerning the same subject. Neighboring States shall ensure the harmonization of different agreements. Contracting Parties shall inform other Contracting Parties and the Commission about such agreements.

第4規則 対応域

締約国は、監視活動を実施し、及び、重大な汚染事故が発生し、又は、発生する可能性がある場合、これに対応するための措置を実施するバルト海域の対応域について二国間又は多数国間で可能な限り早期に合意しなければならない。このような合意は、同じ目的のために締約国間で締結される他の合意に影響を及ぼすものであってはならない。近隣国は、異なる合意の調和を確保しなければならない。締約国は、他の締約国及びヘルシンキ委員会に対しこれら合意について通知しなければならない。

Regulation 5 Reporting Procedure

1.

- a) Each Contracting Party shall require masters or other persons having charge of ships flying its flag to report without delay any event on their ship involving a discharge or probable discharge of oil or other harmful substances.
- b) The report shall be made to the nearest coastal state and in accordance with the provisions of Article 8 and Protocol I of the International Convention for the Prevention of Pollution from Ships, 1973, as modified by the Protocol of 1978 related thereto (MARPOL 73/78).
- c) The Contracting Parties shall request masters or other persons having charge of ships and pilots of aircraft to report without delay and in accordance with this system on significant spillages of oil or other harmful substances observed at sea. Such reports should as far as possible contain the following data: time, position, wind and sea conditions, and kind, extent and probable source of the spill observed.
- 2. The provisions of paragraph 1. b) shall also be applied with regard to dumping made under the provisions of Article 11, paragraph 4 of this Convention.

第5規則 報告手続き

- 1.
- a) 各締約国は、その国籍を有する船舶の船長又はその他の船舶に係る責任を有する者に対し、油若しくはその他の有害物質の排出又は排出の可能性に関係する船舶の事案について遅滞なく報告することを求めなければならない。
- b) 報告は、最寄りの沿岸国に対し、MARPOL73/78 条約(1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書)第8条及び議定書Iに従い実施されなければならない。
- c) 締約国は、船長又はその他の船舶に係る責任を有する者及び航空機のパイロットに対し、海上において発見された油又はその他の有害物質の重大な流出について遅滞なく、本システムに従い報告するよう求めなければならない。この報告は、可能な限り時刻、位置及び海上状況並びに発見された流出の種類、範囲及び可能性のある流出源のデータを含むべきである。
- 2. パラグラフ1のb)規定は、ヘルシンキ条約第11条パラグラフ4の規定に基づく投棄にも適用される。

Regulation 6 Emergency Measures on Board Ships

- 1. Each Contracting Party shall require that ships entitled to fly its flag have on board a shipboard oil pollution emergency plan as required by and in accordance with the provisions of MARPOL 73/78.
- 2. Each Contracting Party shall request masters of ships flying its flag or, in case of fixed or floating platforms operating under its jurisdiction, the persons having charge of

第6規則 船舶上における緊急措置

- 1. 各締約国は、その国籍を有する船舶が MARPOL 73/78 条約の規定に従い、油汚染緊急計画を船舶内 に備え付けるよう求めなければならない。
- 2. 各締約国は、その国籍を有する船舶の船長に対し、若しくは、その管轄下でオペレーションを行う固定式若しくは浮上式プラットフォームの場合にはプラットフォームに責任を有する者に対

platforms to provide, in case of a pollution incident and on request by the proper authorities, such detailed information about the ship and its cargo or in case of platform its production which is relevant to actions for preventing or responding to pollution of the sea, and to co-operate with these authorities.

し、汚染事件の発生に際し、若しくは、適切な当 局の要請に基づき、海上における汚染を防止する ための措置に関係する、若しくは、汚染に対応す るための措置に関係する、船舶及び積荷に係る詳 細な情報を提供し、又はプラットフォームの場合 にはその生産物に係る詳細な情報を提供し、及び、 これら当局と協力するよう、要請しなければなら ない。

Regulation 7 Response measures

1. The Contracting Party shall, when a pollution incident occurs in its response region, make the necessary assessments of the situation and take adequate response action in order to avoid or minimize subsequent pollution effects.

- a) The Contracting Parties shall, subject to sub-paragraph b), use mechanical means to respond to pollution incidents.
- b) Chemical agents may be used only in exceptional cases and after authorization, in each individual case, by the appropriate national authority.
- 3. When such a spillage is drifting or is likely to drift into a response region of another Contracting Party, that Party shall without delay be informed of the situation and the actions that have been taken.

第7規則 対応措置

1 締約国は、その対応域において汚染事故が発生 した場合、引き続く汚染の影響を防止又は最小化 するために、状況に対する必要なアセスメントを 実施し、及び、十分な対応措置を行わなければな らない。

- a) 締約国は、サブパラグラフ b) に従い、汚染事 故に対応するために、機械的方法を用いなければ ならない。
- b) 化学剤は例外的な場合に限り、個々の事案に おいて適切な国の当局の承認の後に利用すること ができる。
- 流出物が他の締約国の対応域に漂流し、又は、 漂流する可能性がある場合には、当該締約国には 遅滞なくその状況及び実施された措置について通 知されなければならない。

Regulation 8 Assistance

- 1. According to the provisions of paragraph 3 of Regulation 1:
- a) a Contracting Party is entitled to call for assistance from other Contracting Parties when responding to a pollution incident at sea or on the shore; and
- b) Contracting Parties shall use their best endeavours to bring such assistance
- 2. Contracting Parties shall take necessary legal or administrative measures facilitate:
- a) the arrival and utilization in and departure from its territory of ships, aircraft and other modes of transport engaged in responding to a pollution incident or transporting personnel, cargoes, materials and equipment required to deal with such an incident; and
- b) the expeditious movement into, through, and out of its territory of personnel, cargoes, materials and equipment referred to in sub-paragraph a).

Regulation 9 Reimbursement of Cost of Assistance

1. The Contracting Parties shall bear the costs of assistance referred to in Regulation 8 in る支援費用を負担しなければならない。 accordance with this Regulation.

第8規則

- 第1規則パラグラフ3の規定に従い、締約国 は、次の各号に掲げる事項を実施する。
- a) 締約国は、海上又は海岸における汚染事件に 対応する場合には、他の締約国からの支援を求め ることができる。
- b) 締約国は、このような支援を実施する場合に は最善を尽くさなければならない。
- 2. 締約国は、次の各号に掲げる事項を促進する ために必要な法的又は管理的措置を行わなければ ならない。
- a) 汚染事件への対応に従事する船舶、航空機及 びその他の輸送手段のその領域への到着、領域で の利用並びにその領域からの出発並びに当該事件 に対応するために必要とされる人員、貨物、材料 及び機材の輸送
- b) サブパラグラフ a) に規定する人員、貨物、材 料及び機材のその領域への、その領域を通じた、 並びに、その領域からの迅速な移動

第9規則 支援費用の返済

締約国は、この規則に従い第8規則の規定す

2

- a) If the action was taken by one Contracting Party at the express request of another Contracting Party, the requesting Party shall reimburse to the assisting Party the costs of the action of the assisting Party. If the request is cancelled the requesting Party shall bear the costs already incurred or committed by the assisting Party.
- b) If the action was taken by a Contracting Party on its own initiative, this Party shall bear the costs of its action.
- c) The principles laid down above in sub-paragraphs a) and b) shall apply unless the Parties concerned otherwise agree in any individual case.
- 3. Unless otherwise agreed, the costs of the action taken by a Contracting Party at the request of another Party shall be fairly calculated according to the law and current practice of the assisting Party concerning the reimbursement of such costs.
- 4. The provisions of this regulation shall not be interpreted as in any way prejudicing the rights of Contracting Parties to recover from third parties the costs of actions taken to deal with pollution incidents under other applicable provisions and rules of international law national or supra-national regulations.

Regulation 10 Regular Co-operation

- 1. Each Contracting Party shall provide information to the other Contracting Parties and the Commission about:
- a) its organization for dealing with spillages at sea and on the shore of oil and other harmful substances;
- b) its regulations and other matters which have a direct bearing on preparedness and response to pollution at sea or on the shore by oil and other harmful substances;
- c) the competent authority responsible for receiving and dispatching reports of pollution at sea and on the shore by oil and other harmful substances;
- d) the competent authorities for dealing with questions concerning measures for mutual assistance, information and co-operation between the Contracting Parties according to this Annex; and
- e) actions taken in accordance with Regulations 7 and 8 of this Annex.
- 2. The Contracting Parties shall exchange information on research and development programs, results concerning ways in which

2.

- a) 他の締約国の要請に基づき締約国による措置 が行われた場合、要請国は支援国に対し支援国の 措置に要した費用を弁済しなければならない。要 請が取り消された場合、要請国は支援国が既に実 施した措置に要した費用を負担しなければならな い。
- b) 自らの意思により締約国によって措置が行われた場合には、この国は措置に要した費用を負担しなければならない。
- c) 上記サブパラグラフa)及びb)に規定する原則 は、個々の事案において関係国が他に合意しない 限り、適用する。
- 3. 他に合意された場合を除き、他の国の要請に 基づき締約国により行われた措置に要した費用 は、本費用の弁済に関し、支援国の法令及び実行 に基づき公正に計算されなければならない。
- 4. この規則の規定は、その他の適用される国際 法及び国内法又は超国家的な規則の規定に基づき 汚染事件に対応するために行われた措置に要した 費用を第三者から回収する締約国の権利を侵害す るものとして解釈してはならない。

第10規則 通常の協力

- 1. 各締約国は、次の各号に掲げる事項に関する 情報を他の締約国及びヘルシンキ委員会に提供し なければならない。
- a) 海上及び海岸における油並びにその他の有害 物質の流出に対応する機関
- b) 油及びその他の有害物質による海上並びに海 岸における汚染に係る準備並びに対応に直接的な 関係を有する規則並びにその他の事項
- c) 油及びその他の有害物質による海上並びに海 岸における汚染の報告を受領し、並びに、発信す る責任を有する権限ある当局
- d) 本附属書に従い締約国間の相互の支援、情報 及び協力に係る措置の照会に対応する権限ある当 局
- e) 本附属書第7規則及び第8規則に従い行われる措置
- 2. 締約国は、海上又は海岸における油及びその 他の有害物質による汚染への対応方法、監視活動 並びに汚染対応の経験に関する研究開発プログラ

pollution by oil and other harmful substances at sea or on the shore may be dealt with and experiences in surveillance activities and in responding to such pollution.

- 3. The Contracting Parties shall on a regular basis arrange joint operational combatting exercises as well as alarm exercises. The Contracting Parties shall also on a regular basis arrange exercises on the shore.
- 4. The Contracting Parties shall co-operate within the International Maritime Organization in matters concerning the implementation and further development of the International Convention on Oil Pollution Preparedness, Response and Co-operation.

ム、結果に係る情報交換を行わなければならない。

- 3. 締約国は、定期的に共同オペレーション対処 訓練、警報伝達訓練を調整しなければならない。 締約国はまた、定期的に海岸における訓練を調整 しなければならない。
- 4. 締約国は、OPRC条約(1990年の油による汚染に係る準備、対応及び協力に関する国際条約)の実行及び更なる展開に係る事項について IMO の枠組みにおいて協力しなければならない。

Regulation 11 HELCOM Response Manual

The Contracting Parties agree to apply, as far as practicable, the principles and rules included in the HELCOM Manual on Co-operation in Response to Marine Pollution, detailing this Annex and adopted by the Commission or by the Group designated by the Commission for this purpose.

第11 規則 ヘルシンキ委員会海洋汚染対応協力マニュアル

締約国は、本附属書を具体化し、ヘルシンキ委員会又はこの目的にためにヘルシンキ委員会により指定されたグループによって採択されるヘルシンキ委員会海洋汚染対応協力マニュアルに規定する原則及びルールを実行可能な限り適用することに合意する。

5 ヘルシンキ委員会勧告

ヘルシンキ条約第20条は、「ヘルシンキ委員会の義務」として「(1)b) この条約の目的に関連する措置についての勧告を行うこと」、「(1)c) 条約(附属書を含む)の内容について見直しを行うこと、並びに、新たな附属書の採択並びに物質及び材料のリストの変更に係る条約(附属書を含む)の必要な改正について加盟国に勧告を行うこと」旨規定する。

(1) ヘルシンキ委員会勧告 22E/5 及びヘルシンキ条約附属書IV改正 2001 年 9 月 10 日、ヘルシンキ委員会はヘルシンキ条約第 20 条(1)c) に基づきヘルシンキ委員会勧告 22E/5 を採択し、ヘルシンキ条約附属 書IV「船舶からの汚染の防止」の第 4 規則を修正し、第 9 規則から第 13 規則を追加するよう勧告を行った。追加された新たな規則のうち第 13 規則が「避難場所」に係る規定である(2002 年 12 月 1 日発効)。ヘルシンキ委員会勧告 22E/5 の関係規定の英語原文及び筆者私訳を表 - 4 に整理する。その後、2003 年 6 月 25 日に採択されたヘルシンキ 委員会勧告 24/8 によりヘルシンキ条約附属書IV「船舶からの汚染の 防止」の第 4 規則を改正、また、第 5 規則が削除されることになり、

この結果、第 6 規則から第 13 規則はそれぞれ第 5 規則から第 12 規則に変更となっている(2004 年 7 月 1 日発効)(上記 4 ヘルシンキ条約附属書、表-2: ヘルシンキ条約附属書 \mathbb{N} : 船舶からの汚染の防止 (Prevention of pollution from ships)参照)。

表-4: ヘルシンキ委員会勧告 22E/5

表-4:ヘルシンキ	- 安貝会働告 22E/5
英語原文	筆者私訳
Adopted 10 September 2001 having regard to	ヘルシンキ条約第 20 条(1)c)に基づき 2001 年 9
Article 20 (1), c) of the Helsinki Convention	月 10 日採択
Amendments to Annex IV "Prevention of	ヘルシンキ条約附属書IV「船舶からの汚染の防
Pollution from Ships" to the Helsinki	止」の改正
Convention	
The following text replaces the current text of	ヘルシンキ条約附属書IV「船舶からの汚染の防
Regulation 4 of Annex IV "Prevention of	止」の第4規則を次の規定に置き換える。
Pollution from Ships" of the Helsinki	
Convention:	
Regulation 4【略】	第4規則【略】
The following new Regulations 9-13 in Annex IV	ヘルシンキ条約附属書IV「船舶からの汚染の防
"Prevention of Pollution from Ships" to the	止」に新たに第9規則から第13規則を置く。
Helsinki Convention are inserted:	
Regulation 9 ~Regulation 12【略】	第9規則~第12規則【略】
Regulation 13 Places of refuge	第 13 規則 避難場所
The Contracting Parties:	締約国は、次の各号に掲げる事項を実施する。
a) shall, following-up the work of EC and IMO,	a) 欧州共同体及びIMOの検討結果を踏まえ、海
draw up plans to accommodate, in the waters	難船舶が権限ある当局の許可に従い、早期に避難
under their jurisdiction, ships in distress in	場所へ入域できることを確保するよう、海難船舶
order to ensure that ships in distress may	をその管轄下にある水域に収容するための計画
immediately go to a place of refuge subject to	を立案しなければならない。
authorisation by the competent authority; and	
b) shall exchange details on plans for	b) 海難船舶の収容に関する計画の内容を相互
accommodating ships in distress.	に交換しなければならない。

(2) ヘルシンキ委員会勧告 31E/5 及びバルト海域における避難場所に 関する相互計画⁷⁾

2010年5月20日、ヘルシンキ委員会はヘルシンキ条約第20条(1)b) に基づきヘルシンキ委員会勧告31E/5を採択し、バルト海域における 避難場所に関する相互計画(Mutual Plan for Places of Refuge in the Baltic Sea Area)を導入した。このヘルシンキ委員会勧告31E/5はその後、2014年3月6日に改正が行われている。ヘルシンキ委員会勧告31E/5の関係規定の英語原文及び筆者私訳を表-5に整理する。

表-5:ヘルシンキ委員会勧告 31E/5

表 - 5 : ベルンン イ安貝云側 = 51E/5	
英語原文	筆者私訳
Revised HELCOM RECOMMENDATION 31E/5	改正ヘルシンキ員会勧告 31E/5
Adopted 20 May 2010, having regard to Article	ヘルシンキ条約第 20 条(1)b)に基づき、2010 年 5
20. Paragraph 1 b) of the Helsinki Convention	月 10 日採択

Revised 6 March 2014, having regard to Article ヘルシンキ条約第20条(1)b)に基づき、2014年3 月6日改正 20, Paragraph 1 b) of the Helsinki Convention MUTUAL PLAN FOR PLACES OF REFUGE IN THE BALTIC バルト海域における避難場所に関する相互計画 SEA AREA THE COMMISSION, ヘルシンキ委員会は、 NOTING the increasing maritime traffic and バルト海域における海上交通及び特に油製品の輸 especially transportation of oil products in 送の増加並びに危険有害物質及びコンテナ輸送を the Baltic Sea and the expected future 含む将来的な海上輸送活動の相当な成長について significant growth of shipping activities in 留意する。 general, including shipment of hazardous and noxious substances and container traffic, BEING AWARE of the increasing risk of a 海上における汚染事故のリスクの増加について認 識する。 pollution incident at sea, RECALLING the provisions of Regulation 12 of 海難船舶を収容する計画を立案し、この計画を相 互に交換する締約国の義務に係る1992年のバルト Annex VI to the Convention on the Protection of the Marine Environment of the Baltic Sea Area, 海域の海洋環境保護に関する条約の附属書VI第 12 1992, (Helsinki Convention), concerning the 規則の規定を想起する。 obligation of the Contracting Parties to draw up plans to accommodate ships in distress and to exchange details on such plans, RECALLING FURTHER HELCOM Recommendation 28E/12 汚染に係る準備及び対応に関する域内対応の重要 recognizing the significance of sub-regional 性について認識する勧告 28E/12、並びに、リスク approach to pollution preparedness and アセスメントに基づき避難場所に係る十分な対応 response and that adequate response capacities 能力が利用可能とされるべきであることを想起す should be available for places of refuge based る。 on risk assessment in a sub-regional context, RECALLING ESPECIALLY the HELCOM Baltic Sea 要支援船舶が遅滞なく、かつ、国境に関わらず最 Action Plan, in which the Contracting Parties も適切な避難場所に収容されることを確保する避 decided to develop by 2009 and implement by 2010 難場所に関する相互計画を締約国が2009年までに 作成し、2010年までに実行することを決定したバ a mutual plan for places of refuge, which is to ensure that a ship in need of assistance is ルト海域行動計画を想起する。 accommodated in the most appropriate place of refuge without undue delay and irrespective of countries' borders, 要支援船舶に効果的に対応し、その状況を評価す RECALLING ALSO IMO Resolution A. 949(23) "Guidelines on places of refuge for ships in るための共通枠組みを提供する IMO で採択した「要 need of assistance" providing a common 支援船舶に対する避難場所に関するガイドライ framework for responding effectively to and ン」(IMO ガイドライン)及び 2002 年に採択された assessing the situation of ships in need of 欧州共同体の船舶通航監視指令(Directive assistance as well as EC Directive 2009/17/EC 2002/59) を改正する指令(Directive 2009/17) を想 amending Directive 2002/59 establishing a 起する。 Community Vessel Traffic Monitoring and Information system, and other relevant regulations. ACKNOWLEDGING that there may be specific 当初支援を必要とする状況が発生した 1 つの国よ circumstances under which granting to a ship a りも他の国において船舶に避難場所を提供するこ とが船舶及び環境の双方にとって一層安全である place of refuge in a response zone of another country than the one in which a situation of ような特定の状態が存在し得ることを認識する。 need of assistance originally started would be much safer for both the ship and the environment,

> 関連する欧州連合(EU: European Union)指令に従う EU 加盟国である締約国もあることから、締約国 がヘルシンキ条約の規則により避難場所に関する 要件を実行する方法は様々であることを認識す

ACKNOWLEDGING ALSO that the way the Contracting

States implement requirements on places of

refuge according to regulations of the Helsinki

Convention and for those Contracting States who

are members of EU also of the relevant EU	్ వ
	చం
Directive, varies,	
BEING AWARE that there might be damage costs	避難場所に関連する損害費用が発生し、その費用
related to a place of refuge situation and that	のなかには国際的な責任及び補償の枠組みでは対
some of those costs might not be covered by the	象とされない可能性があることを認識する。
international liability and compensation	
schemes,	New York and the property of the control of the con
STRESSING the Polluter Pays Principle	汚染に係る費用が発生した場合、これら費用は汚
underlining that the polluting party should	染者が負担するべきであることを明確化する汚染
bear the cost of pollution if such damage costs	者負担の原則を強調する。
occur,	
WELCOMING the entry into force of the Bunkers	バンカー条約(2001 年の燃料油による汚染損害に
Convention,	ついての民事責任に関する国際条約)の発効を歓
	迎する。
RECOGNIZING the urgent need for a sufficient	危険有害物質の海上輸送に関連する損害に対する
liability and compensation regime for damage in	十分な責任及び補償に係る枠組みを緊急に策定す
relation to carriage of hazardous and noxious	る必要性を認識する。
substances by sea, and therefore	
WELCOMING the adoption of the Protocol to the	「1996 年の危険物質及び有害物質の海上輸送に関
International Convention on Liability and	連する損害についての責任並びに損害補償及び補
Compensation for Damage in Connection with the	償に関する国際条約を改正する 2010 年の議定書」
Carriage of Hazardous and Noxious Substances by	の採択を歓迎する。
Sea, 1996,	
WELCOMING FURTHER the initiative brought	海事債権についての責任の制限に関する国際条約
forward to the 96th session of the IMO's Legal	の責任制限額を改正するために第96回 IMO 法律委
Committee with the aim of further amending the	員会に発議された提案(1976 年の海事債権につい
limits of the International Convention on	ての責任の制限に関する条約を改正する1996年の
Limitation of Liability for Maritime Claims	議定書)を歓迎する。
(LLMC Protocol 96),	
BEING AWARE that this Recommendation can only	バルト海域全体において避難場所に関連する損害
be fully implemented when a harmonized	費用について調和した責任補償の枠組みが設定さ
compensation and liability regime for damage	れた場合においてのみ、この勧告が完全に実行可
costs in relation to places of refuge in the	能であることを認識する。
whole Baltic Sea area is created,	na cos a c c a parage s a s
RECOGNIZING the need for harmonized approach in	沿岸国が国際法に従い要支援船舶に対し行使する
the Baltic Sea to the powers costal states can	ことが可能な権限については、バルト海で調和し
execute over ships in need of assistance	た方法が必要であることを認識する。
according to the international legislation,	1 に 1 は 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で
WITHOUT PREJUDICE to international agreements	国際協定及び欧州共同体法令に影響を及ぼすもの
and legislation of the European Community,	国际励足及び欧州共同体伝すに影響を及はすものではない。
	船舶及び環境に対する過度の危険性を回避するた
Ü	
co-operate when providing a place of refuge for	めに、要支援船舶に対し避難場所を提供する際には加盟国が増力することを知失する
a ship in need of assistance in order to avoid	は加盟国が協力することを勧告する。
unnecessary risk for the ship and the	
environment,	
RECOMMENDS FURTHER the Contracting States to	避難場所に関する相互計画の枠組みにより早期の
designate preferably one and maximum two	措置実施を促進するために、要支援船舶の収容に
competent authorities which have the power to	ついて独立した決定を行う、可能であれば1つの、
take independent decisions concerning the	多くても 2 つの権限ある当局を指定することを勧
accommodation of ships in need of assistance in	告する。
order to facilitate rapid actions within this	
mutual plan for places of refuge,	

RECOMMENDS FURTHERMORE to ensure that upon request by one Contracting State (Requesting Party) a neighboring Contracting State (Requested Party) will consider accommodating a ship in need of assistance in its waters even if an incident involving such a ship started outside its response zone.

1 つの加盟国(要請国)の要請に基づき、要支援船舶 に関連する事故が近隣の加盟国の対応水域外で発 生したものであっても、近隣の加盟国が被要請国 としてその水域内での要支援船舶の収容を検討す るよう勧告する。

Such a request should only be submitted by a Contracting State if national options have been fully explored leading to a conclusion that due to different circumstances there is no suitable place of refuge in its own area and granting a shelter in a neighboring Contracting State is the only solution to ensure ship, coastal and traffic safety and avoid or limit pollution.

このような要請は、船舶、沿岸及び船舶交通の安 全性を確保し、汚染を防止又は限定するために、 自国のエリア内に適当な避難場所がなく、近隣国 に保護場所を認めることが唯一の解決策であると いう結論に至る前に、国内での選択肢が十分に検 討された場合にのみ、加盟国によって提出される べきである。

The non-exclusive list of these circumstances includes:

- このような状況は限定するものではないが、次の ような事例が含まれる。
- lack of an adequate shelter area in the vicinity of an incident (e.g. too small or full port, shallow waters);
- 事故船舶の付近に十分な保護水域が存在しな い場合(例:狭隘又は余裕のない港、浅水域)
- unfavorable weather conditions making it impossible to use a place of refuge in the Requesting Party (e.g. pack ice ridges, storm);
- 要請国の避難場所の利用を不可能とするよう な天候状況(例:水域上の氷塊、暴風)
- urgent and case specific environmental concerns, e.g. related to the protection needs of endangered and threatened species and habitats, vicinity of the Baltic Sea Protected Area and/or NATURA 2000;
- 緊急かつ環境への特別の配慮が必要な場合 (例:バルト海保護水域及び/又は NATURA 2000 の 付近にある絶滅の危険に晒された生物種及びこれ ら生息域の保護の必要性)
- difficult navigational and/or traffic conditions creating additional hazards.
- 新たな危険性を惹起する困難な航海及び/又 は交通条件がある場合

Financial considerations, commercial reasons or lack of response resources should not be regarded as a sufficient reason to request a place of refuge from another Contracting State.

金銭的考慮事項、商業的理由又は対応資機材の不 足は、他の加盟国による避難場所の要請に対する 十分な理由とはみなされるべきではない。

Lack of response resources should be met within the regular HELCOM co-operation based on the Manual HELCOM Response and HELCOM Recommendations in the field of response to pollution at sea.

対応資機材の不足は、ヘルシンキ委員会対応マニ ュアル及び海上における汚染対応に係るヘルシン キ委員会勧告に基づく通常のヘルシンキ委員会協 力の枠組みで対応するべきである。

The Requesting Party when contacting the Requested Party should provide all information on their reasons for not accommodating the vessel in their own area.

要請国が被要請国に連絡する場合には、自国エリ ア内に船体を収容できない理由に関するすべての 情報を提供するべきである。

The circumstances listed above equally apply to consideration by the Requested Party whether to receive a ship in its waters, including conditions for the intended journey.

上記の状況は、被要請国による自国の水域への船 舶の受入れの是非、予定する航海の状況を検討す る場合に同様に適用する。

In case the Requested Party is not in a position to offer a place of refuge the underlying reasons for this decision should be communicated to the Requesting Party,

被要請国が避難場所を提供する立場にない場合、 この決定に係る基本的な理由は要請国に通知され るべきである。

RECOMMENDS ALSO that the information as ヘルシンキ委員会対応マニュアルに含まれる情報 included in HELCOM Response Manual should be が要請国及び被要請国の間で交換されるべきであ

exchanged between the Requesting Party and the Requested Party,

ることを勧告する。

RECOMMENDS FURTHER the Contracting States to exchange information on designated places of refuge, including their location, e.g. to be made available within sub-regional co-operation,

締約国に対し、一例として城内協力の枠組みで利 用可能とするよう、指定された避難場所に関する 情報を交換することを勧告する。

RECOMMENDS FURTHERMORE the Contracting States to take the necessary steps to make the Mutual Plan for Places of Refuge operational and implemented within/through sub-regional agreements on joint response to pollution at sea.

締約国に対し、海上における汚染への共同対応に 係る域内協定を通じ、避難場所に関する相互計画 が運用、実施されるよう必要な措置をとることを 勧告する。

RECOMMENDS the Governments of the Contracting States, who have not yet done so, to ratify as soon as possible:

締約国政府に対し、以下の条約を早期に批准する よう勧告する。

- the 2003 Protocol establishing the International 0il Pollution Compensation Supplementary Fund (Fund Protocol 2003);
- 1992 年の油による汚染損害の補償のための国際基金の設立に関する国際条約の2003年の議定書
- the International Convention on Civil Liability for Bunker Oil Pollution Damage 2002 (Bunker Oil Convention);
- 2001 年の燃料油による汚染損害についての民 事責任に関する国際条約
- the International Convention on Liability and Compensation for Damage in Connection with the Carriage of Hazardous and Noxious Substances by Sea. 1996 (HNS Convention) and its Protocol;
- 1996 年の危険物質及び有害物質の海上輸送に 関連する損害についての責任並びに損害補償及び 補償に関する国際条約を改正する 2010 年の議定書
- the 1996 Protocol to the Convention on Limitation of Liability for Maritime Claims (LLMC Protocol 96);
- 1976 年の海事債権についての責任の制限に関する条約を改正する 1996 年の議定書
- the Nairobi Convention on Removal of Wrecks, 2007;
- 2007年の海難残骸物の除去に関するナイロビ 国際条約
- and to denunciate the International Convention on Limitation of Liability for Maritime Claims 1976 (LLMC 76),
- 及び、締約国政府に対し1976年の海事債権についての責任の制限に関する条約を廃棄通告するよう か生せる

RECOMMENDS FURTHER the Contracting States to make a reservation under LLMC Protocol 96 as to the claims in respect of raising, removal and destruction of a sunken, stranded, wrecked or abandoned ship as well as to the claims in respect of removal, destruction and rendering harmless of the cargo of the ship so as higher liability limits than in LLMC Protocol 96 could be imposed on a shipowner in respect of these claims.

締約国に対し、沈没し、難破し、乗り揚げ若しくは放棄された船舶の引揚げ、除去又は破壊に関する債権、及び、船積み貨物の除去、破壊又は無害化作業に関する債権について、1976年の海事債権についての責任の制限に関する条約を改正する1996年の議定書において、これら債権について船舶所有者に課せられる責任制限よりも高い責任制限となるよう、同議定書に基づく留保権を行使するよう勧告する。

TAKING INTO ACCOUNT the provisions of the Helsinki Convention stipulating that if the action was taken by one Contracting Party at the express request of another Contracting Party, the Requesting Party shall reimburse to the assisting Party (Requested Party) the costs of action of the assisting Party,

他の締約国の明確な要請により締約国によって措置が行われた場合には、要請国は被要請国の支援に要した費用を弁償しなければならない旨規定するヘルシンキ条約の規定を考慮する。

RECOMMENDS the Contracting States to in advance bilaterally discuss ways of fair sharing of the operation costs by state authorities in a place of refuge situation not met by the 締約国に対し、国際的な補償の枠組みには合致せず、汚染者負担の原則に影響を及ぼさない国の当局によって行われる避難場所に係るオペレーション費用の適正な負担の方法について、事前に二国

international compensation regime and without	間で検討することを勧告する。
prejudice to Polluter Pays Principle,	HI CIXII) OCCEMBI / Vo
AGREES to reconsider the issue of cost sharing,	必要がある場合には、費用負担の問題について再
if needed.	度検討することを合意する。
AGREES ALSO to follow the guidelines attached	要支援船舶に関し沿岸国の権限を行使する場合に
to this Recommendation when executing powers of	は、この勧告に添付するガイドラインに従うこと
the coastal states with regard to ships in need	を合意する。
of assistance,	- と口だりつ。
REQUESTS the Contracting Parties to report on	締約国に対し、この勧告の採択後2年以内に勧告
implementation of this Recommendation within	の実施状況について報告するよう勧告する。
two years after its adoption.	の大心(について) で、大心(が) で、
1	ヘルシンキ委員会勧告 31E/5 附属書
Annex to HELCOM Recommendation 31E/5	
Places of refuge - Towards a common	船舶の避難場所-要支援船舶に関連して行使する 沿岸国の権利の共通認識
understanding of the rights of the Coastal	伯丹国の惟利の共理祕諏
State to take action with respect to a ship in	
need of assistance	4 11.19.11.19
1. Introduction	1. はじめに
The aim of this document is to outline the	この文書は、船舶の避難場所にある要支援船舶に
rights of a Coastal State to take action with	関連して行使する国際法を基本とする沿岸国の権
respect to a ship in need of assistance in a	利について概説することを目的とするものであ
place of refuge - situation on the basis of	り、沿岸国が行う措置によって生ずる責任の問題
international law2. The intention is not to	を議論するものではない。
discuss the liability issues that might arise	1982 年の国連海洋法条約 (UNCLOS: United Nations
for a Coastal State taking actions.	Convention on the Law of the Sea) は船舶に係る
The UN Convention on the Law of the Sea, 1982	沿岸国の権利及び義務について規定する基本的な
(UNCLOS) is the basic international instrument	国際法である。国連海洋法条約は、一方で「航海
regulating issues regarding the Coastal	の自由」を規定しつつ、他方で環境に対して危険
State s rights and obligations in respect of	を惹起する可能性のある船舶に対し行使する沿岸
ships. The Convention includes provisions	国の権利を規定するものであり、これら双方の一
regulating on one hand the "freedom of	定のバランスを形成する。寄港国の管轄権と比較
navigation" and on the other hand the rights	し、外国船舶に対する沿岸国の管轄権は、国連海
of a Coastal State to take action with respect	洋法条約において比較的厳格かつ明確な制限に従
to ships, which can pose a danger to the	うこととなる。海上輸送活動については、国連海
environment - the provisions form a sort of	洋法条約は IMO で合意する法令及び規則によって
balance between those two interests. Compared	補完される。
to port State jurisdiction the coastal States	
jurisdiction over foreign ships is subject to	
relatively stringent and precise limitations	
in UNCLOS. In respect of shipping UNCLOS is	
complemented by rules and regulations agreed in	
IMO.	
2. ~6. 【略】	2. ~6. 【略】

6 ヘルシンキ委員会海洋汚染対応協力マニュアル⁸⁾

ヘルシンキ委員会は、1983年以降、海洋汚染対応に係る協力オペレーション、監視活動及び対応訓練を実施するためにマニュアルを作成し、適用している。従来のマニュアルは、第1編(海上における油汚染事件への対応)、第2編(海上における危険物質流出事件への対応)及び第3編(海岸における対応)として構成されていた。2010年5月、バルト海域におけ

生 本チ/ ショ

る避難場所に関する相互計画(上記 5(2))を踏まえ、第 1 編(海上における油汚染事件への対応)に「4.5 避難場所の要請(Requesting a Place of Refuge)」が追加された。

2021年3月、ヘルシンキ委員会は、マニュアルの利用者利便の向上及び内容の最新化を図ることを目的としてマニュアルの修正案を採択した。この修正案は従来のマニュアル第1編(海上における油汚染事件への対応)及びマニュアル第3編(海岸における対応)を結合し、「ヘルシンキ委員会海洋汚染対応協力マニュアル」(HELCOM Manual on Co-operation in Response to Marine Pollution)(全体143ページ)に再編成とするものであり9、従来の第1編(海上における油汚染事件への対応)中の「4.5 避難場所の要請(Requesting a Place of Refuge)」に記載されていた避難場所に関係する規定についても修正が行われている。修正されたマニュアル中の避難場所に関係する規定について英語原文及び筆者私訳を表ー6に整理する。なお、ケミカル物質流出事件対応について規定する従来のマニュアル第2編は、2021年3月、「危険有害物質対応マニュアル」(Marine HNS Response Manual)として再編成が行われている。

表-6:ヘルシンキ委員会海洋汚染対応協力マニュアル

****新百**+

英語原文	筆者私訳
INTRODUCTION	はじめに
The Baltic Sea co-operation in responding to spillages of oil and other harmful substances is based on the articles 13 and 14 of the Helsinki Convention1 and HELCOM Recommendations, adopted by the Helsinki Commission. Since 2014 the Convention has explicitly also covered response co-operation on the shore.	バルト海における油及びその他の有害物質の流出に対応するための協力は、ヘルシンキ条約第13条及び第14条並びにヘルシンキ委員会で採択される勧告に基づくものである。2014年以降、ヘルシンキ条約は、海岸における対応についても対象とすることを明確にしている。
Annex VII: Response to Pollution Incidents of the Convention gives a legal status to the HELCOM Manual on Co-operation in Response to Marine Pollution (in the following the Manual). The Manual is applied by the Baltic Sea countries in operational co-operation, surveillance activities and response exercises. In Annex VII the provisions of response to pollution incidents are defined and the Contracting Parties agree to apply, as far as practicable, the principles and rules included in the Manual.	ヘルシンキ条約附属書WI(汚染事故への対応)は、ヘルシンキ委員会海洋汚染対応協力マニュアル(以下「マニュアル」という)に係る法的根拠を与えている。マニュアルは、バルト海の国によりオペレーション協力、監視活動及び対応訓練に適用される。附属書WIにおいては汚染事故への対応について規定し、締約国は実行可能な限り、マニュアルに記載する原則及びルールを適用することに同意する。
This Manual combines the previous Volume 1 regarding oil response to pollution incidents	このマニュアルは、主に海上における汚染事故へ の対応について規定する従前の第 1 編と海岸に
mostly at sea and Volume 3 which concentrates on	おける対応に特化して規定する第3編を結合す
response on the shore. Volume 2, replaced by the	る。第2編は危険有害物質域内海上共同対応マニ

Joint Inter-Regional Marine HNS Response Manual, describes response to accidents at sea involving spills of hazardous substances. ュアルとして置き換え、危険物質の流出を含む海 上事故への対応を規定する。

This Manual should be regarded as a practical implementation of the International Convention on Oil Pollution Preparedness, Response and Co-operation (OPRC Convention).

このマニュアルは、OPRC 条約(1990 年の油による 汚染に係る準備、対応及び協力に関する国際条 約)の実行措置として認識されるべきである。

PURPOSE OF THE MANUAL

マニュアルの目的

According to the Helsinki Convention the Contracting Parties shall agree bi- or multilaterally on those regions of the Baltic Sea, in which they act together. This is to maintain ability to respond to spillages of oil and other harmful substances as effectively as possible. The Manual should be used as guidance and help for bi- and multilateral co-operation and participation in joint actions.

ヘルシンキ条約に従い、締約国は二国間又は多数 国間でバルト海域において共同で対応すること について合意しなければならない。これは、油及 びその他の看害物質の流出に可能な限り効果的 に対応する能力を維持することを目的とする。マ ニュアルは、二国間及び多数国間での協力並びに 共同行動への参画に係るガイダンス並びに支援 策として使用されるべきである。

This Manual is intended for Response Commanders and Supreme On-Scene Commanders leading the multinational response operations at sea and on the shore. It is also meant for personnel participating in the multinational response operations and for authorities dealing with national contingency planning and strategic development.

このマニュアルは、海上及び海岸における多国間 対応を主導する対応指揮官並びに上級現場指揮 官のためのものである。また、多数国間の対応オペレーションに参加する人員並びに国家的緊急 時計画及び戦略的展開に対応する当局の利用も 意図している。

DESCRIPTION OF THE CONTENTS

記載内容

The Manual includes details on operational co-operation, as well as general arrangements in a joint operation.

マニュアルは、オペレーション協力及び共同オペレーションの一般的な調整についてその詳細を 記載する。

Chapter 1 contains the National Contact Points of the Contracting Parties. Chapters 2, 3 and 4 describe the guidelines for co-operation, procedures for requesting and providing assistance and the administrative support a requesting Party should be able to give. The pollution reporting system is presented in Chapter 5.

第1章は、締約国のコンタクトポイントを記載する。第2章、第3章及び第4章は、協力に係るガイドライン、要請及び支援提供の手続並びに要請国が提供する管理的支援について記載する。汚染報告システムは第5章に提示する。

Chapters 6 and 7 provide useful information on aerial surveillance and oiled wildlife response. The different types of response exercises and exercise planning, evaluation and reporting are explained in Chapter 8. Chapter 9 gives details on financial aspects that shall be paid attention to in joint response operations and Chapter 10 describes how the oil sampling process should be handled in order to obtain information about the spill.

第6章及び第7章は、上空監視及び油汚染野生動物への対応に係る有益な情報を規定する。第8章は、異なる種類の対応訓練及び訓練計画立案、評価並びに報告について説明する。第9章は、共同対応オペレーションにおいて留意する金銭的側面の詳細を規定する。第10章は、流出に係る情報を得るための油サンプル採取方法について規定する。

The Manual contains 12 annexes that provide additional information for the chapters.

マニュアルは、各章の追加的情報として 12 の附 属書を有する。

UPDATING OF THE MANUAL [略] 1. INFORMATION BY THE CONTRACTING PARTIES

マニュアルの更新【略】 1. 締約国の情報

Each Contracting Party shall have a national system for responding promptly and effectively to oil pollution incidents. This system shall include as a minimum the designation of:

各締約国は、油汚染事故に迅速かつ効果的に対応 するための国のシステムを保有しなければなら ない。このシステムは、少なくとも次の各号に掲 げる事項を指定するものでなければならない。

- Competent National Authority/Authorities with responsibility for marine pollution preparedness and response
- operational National Contact Point/Points which are responsible for the receipt and transmission of oil pollution reports
- authority which is entitled to act on behalf of the country to requested assistance or to decide to render the assistance requested3.

The contact details of the nationally responsible operational bodies are listed below. The national response structure/system of each Contracting Party and the role of the EU in marine pollution response are explained in Annex 2. A list of response equipment of the Contracting Parties can be found on the HELCOM website.

National Contact Points for spills at sea, on the shore and oiled wildlife response Aerial surveillance - responsible authority Contact points for joint aerial surveillance in the Baltic

Contact points for places of refuge

2. GUIDELINES FOR OPERATIONAL CO-OPERATION

The Contracting Parties undertake to maintain ability to respond to pollution incidents threatening the marine environment of the Baltic Sea area. This ability shall include adequate equipment, ships and manpower prepared for operations on the shore, in coastal waters as well as on the open sea. The Contracting Parties shall, subject to their capabilities and availability of relevant resources, co-operate in responding to pollution incidents.

If a pollution incident occurs in a Contracting Party's response region, the Party shall make the necessary assessments of the situation and take adequate response action in order to avoid or minimize pollution. When such a spillage is likely to drift into a response region of another Contracting Party, that Party shall without delay be informed of the situation and the actions that have been taken.

A Contracting Party is entitled to call for assistance from other Contracting Parties when responding to a pollution incident at sea or on the shore. Contracting Parties shall use their best endeavours to bring such assistance. They shall facilitate transport and movements of ships, aircraft, personnel, cargoes, materials and equipment engaged in responding to a pollution incident into, through and out of their territories.

-海洋汚染の準備及び対応に責任を有する一つ 又は複数の国の権限ある当局

ー油汚染報告の受領及び発信に責任を有するオペレーションに関わる一つ又は複数の国のコンタクトポイント

-支援を要請し、又は、要請された支援を提供することを決定する国を代表する当局

各国のオペレーション対応機関のコンタクト情報は、以下の通りである。各締約国の対応体制/システム及び海洋汚染対応に係る EU の役割は、附属書 2 に説明する。締約国の対応機材のリストは、ヘルシンキ委員会のウェブサイトで参照可能である。

【概略:締約国の次の各号に掲げる連絡先を記載】

- -海上及び海岸における流出並びに油汚染野生 動物対応に係る国のコンタクトポイント
- 上空監視に係る責任ある当局
- ーバルト海における共同上空監視に係るコンタ クトポイント
- 避難場所に係るコンタクトポイント
- 2. オペレーション協力に係るガイドライン

締約国は、バルト海域の海洋環境に脅威を及ぼす 汚染事故に対応する能力を維持することを約束 する。この能力は、海岸、沿岸水域及び大洋上で のオペレーションに係る十分な機材、船舶並びに 人員を含むものでなければならない。締約国は、 その能力及び関連する資源の利用可能性に従い、 汚染事故対応に協力しなければならない。

汚染事故が締約国の対応域内において発生した場合、締約国はその状況に係る必要なアセスメントを行い、汚染を防止又は最小化するために十分な対応措置を行わなければならない。当該汚染が他の締約国の対応域に漂流する可能性がある場合、影響を受ける可能性のある締約国にはその状況及び行われた措置について遅滞なく通知されなければならない。

海上及び海岸における汚染事故に対応する場合には、締約国は、他の締約国からの支援を求める権利がある。締約国は、要請された支援を遂行するに際しては最善を尽くさなければならない。締約国は、汚染事件に対応する船舶、航空機、人員、貨物、物品及び機材の、その領域に対する、その領域を通じた、並びに、その領域からの輸送並びに移動を促進しなければならない。

2 1 COMMAND STRUCTURE	9.1 按据会会体制
2. 1. COMMAND STRUCTURE	2.1. 指揮命令体制
The response operators are the following:	対応に係るオペレーターは、次の各号に掲げる通りでする。
1 10 (10)	りである。
Lead Country (LC)	主導国
A Lead Country is a Contracting Party that has	主導国は、海洋汚染事故に対応するために他の締
asked for assistance from other Contracting	約国からの支援を要請した締約国とする。他に合
Parties for responding to a marine pollution	意がない場合、共同オペレーションとする。
incident. It is in charge of the joint operation,	
unless otherwise agreed.	
Competent National Authority (CNA)	国の権限ある当局
A Competent National Authority is the nationally	国の権限ある当局は、国際的な支援を要請し、国
responsible authority that is empowered to	際的な支援を提供する権限を有する国の責任の
request and give international assistance (cf.	ある当局とする(第1章参照)。国の権限ある当局
Chapter 1). It has the overall control of a joint	は、共同オペレーション及び事故に係るすべての
operation and all the pollution response	汚染対応措置についての全般的コントロールを
measures for the same incident. Competent	行う。支援国の権限ある当局は、主導国に対し対
National Authorities of the assisting Parties	応船舶、対応チーム及び物品のような合意した支
provide the Lead Country agreed assistance, such	援を提供する。EU 加盟国については、欧州委員
as response vessels, Strike Teams and materials.	会の緊急対応調整センターが国の権限ある当局
For EU Member States, Emergency Response	として活動することが可能である。
Coordination Centre (ERCC) of the European	
Commission can act as the CNA.	
【略】	【略】
2.2. OPERATIONAL COMMUNICATION【略】	2.2. オペレーションに係る通信【略】
2.3. OTHER PRINCIPLES FOR OPERATIONAL	2.3. オペレーション協力に係るその他の原則
CO-OPERATION 【略】	【略】
Transfer of the operational control	オペレーションコントロールの移管
The Contracting Party that has been in charge of	油汚染に係る実質的部分又は重大は脅威が他の
the joint operation may request another Party to	締約国の範囲に移動する場合には、共同オペレー
take over the supreme command, if a substantial	ションに責任を有する締約国は、他の締約国に指
part or serious threat of an oil pollution	揮命令権限を引継ぐことができる。
moves/has moved into the zone of another Party.	
The timing of the shift of operational command	オペレーションに係る指揮命令及びコントロー
and control should be negotiated between the two	ルの移管の時期は、事案の展開に係る全体像及び
countries in question, taking due regard to the	進展を考慮し、関係する二国間で調整を行うべき
overall picture and any possible trends in its	である。関係国はまた、新たな主導国の裁量で配
development. The countries in question will	置することが可能となる部署の数及び機材の量
further have to settle the number of units and	を検討しなければならない。関係国は、対応オペ
the amount of equipment that could be placed at	レーションをどのように継続するべきかについ
the disposal of the new Lead Country. They also	て合意しなければならない。
have to agree on how the response operation	く口心 ひないれいからいない。
should be continued.	
3. REQUESTING AND PROVIDING ASSISTANCE	3. 支援の要請及び提供
Requesting and providing assistance for oil or	油又は化学物質の流出事故対応並びに避難場所
chemical spill response and a place of refuge are	一個文は化学物質のת面争敬対応並びに避難場所 に係る支援の要請及び提供は、ヘルシンキ条約、
based on the Helsinki Convention, HELCOM	へルシンキ委員会勧告 31E/5、IMO ガイドライン
Recommendation 31E/510, international	及びその他の協力に係る国際的枠組みに基づく
guidelines within the International Maritime	ものである。
Organization (IMO) and other international	
frameworks for co-operation.	。ルンハル・香具人の加田団は、一団田豆が夕料団
HELCOM Member States have concluded bi- and	ヘルシンキ委員会の加盟国は、二国間及び多数国
trilateral agreements (see Annex 3. Bi- and	間の協定を締結している(附属書 3:二国間及び
Trilateral Agreements). In addition to that, in	多数国間の協定を参照)。これに加え、共同オペ
a joint operation the requesting and the	レーションの際、要請国及び支援国は、提供される る資源の適切な派遣について確認を行うべきで
assisting Parties should make a confirmation	

concerning the proper dispatching of the resources provided. The confirmation concerns also a survey and an assessment of consumed stocks, including damaged or contaminated equipment.

ある。この確認はまた、損傷し、又は、汚染され る機材を含む消費される貯蔵物品の調査及び評 価に関連するものである。

3. 1. OBLIGATIONS OF THE REQUESTING PARTY

In case of a major oil or chemical pollution incident at sea or on the shore, a request for assistance from a Contracting Party (requesting Party) can be addressed to one or more Contracting Parties (assisting Party/Parties). The request for assistance shall be made by the Competent National Authority of the requesting Party and addressed to the Competent National Authority of the assisting Party. Competent National Authorities are listed in Chapter 1 of this Manual.

3.1. 要請国の義務

海上若しくは海岸において大規模な油又は化学 物質の汚染事故が発生した場合、締約国(要請国) からの支援の要請は、一国又は複数の締約国(支 援国)に伝達される。支援の要請は、要請国の権 限ある国の当局によって行われ、支援国の権限あ る国の当局に伝達されなければならない。権限あ る国の当局は、このマニュアルの第1章に記載す

Requests shall be made using the POLREP format. When writing the POLREP, the requesting Party should identify as precisely as possible the specific tasks to which international assistance is needed.

The requesting Party shall take into account the following points:

Written confirmation

If the request is initially given by phone the request shall always be followed by a written confirmation by a Competent National Authority of the requesting Party.

Clearly defined tasks and forms of assistance The requesting Party shall inform the Competent National Authority of the assisting Party on the tasks of the assisting Party. The tasks have to 作業は明確化されなければならない。 be clearly defined.

要請は、汚染報告書(Pollution Report)様式によ り実施しなければならない。汚染報告書様式に記 載する場合、要請国は国際的な支援を必要とする 特別の作業を可能な限り正確に特定するべきで ある。

要請国は、次の各号に掲げる事項を考慮しなけれ ばならない。

書類による確認

当初電話による要請が行われる場合、後にその要 請は要請国の権限ある国の当局により書類の確 認が実施されなければならない。

支援作業及び形式の明確化

要請国は、支援国の権限ある国の当局に対し支援 国の作業について通知しなければならない。その

A request of assistance can consist of:

- specified equipment only
- personnel with special expertise
- pollution response vessels
- complete strike teams
- aerial surveillance
- other types of specified equipment with trained personnel.

Strike teams at sea can consist of:

- response vessels and crews
- work boats and crews
- equipment for
- o communication
- o personnel safety (protective suits, breathing apparatus etc.)
- o booms, skimmers, storage tanks and other specialized equipment to respond to at sea pollution.

Strike teams on the shore can consist of:

- oiled shore response teams

支援の要請は次の各号で構成する。

- -特定機材
- -特別の専門性を有する人員
- 汚染対応船舶
- -対応チーム
- 一上空監視
- -訓練を受けた人員を伴う他の種類の指定機材

海上における対応チームは次の各号で構成する。

- -対応船舶及び乗組員
- -作業船及び乗組員
- -機材
 - 通信機材
 - 人員安全機材(保護衣、呼吸機材等)
 - 海上における汚染に対応するためオイル フェンス、スキマー、保管用タンク及びその 他の特殊機材

海岸における対応チームは次の各号で構成する。 -油汚染海岸対応チーム

- oiled wildlife treatment teams	-油汚染野生動物対応チーム
- oiled wildlife catching teams	-油汚染野生動物捕獲チーム
- equipment for	-機材
o communication	○ 通信機材
o personnel safety (protective suits,	○ 人員安全機材(保護衣、呼吸機材等)
breathing apparatus etc.)	
o specialized equipment for responding to on	○ 海岸汚染に対応するための特殊機材
the shore pollution	
o specialized equipment for oiled wildlife	○ 油汚染野生動物に対応するための特殊機
response.	材
Integration of the assisting Party units in the	対応体制に係る支援国の部署の統合
response structure	
The requesting Party shall keep close contact	要請国は、支援国の指揮命令機関と緊密に連携し
with the command organizations of the assisting	なければならない。これは、支援国の部署が要請
Parties. This is to secure that the assisting	国の対応体制に統合されることを確保するため
Party units can be integrated in the response	である。
structure of the requesting Party.	
Equipment and personnel from the assisting Party	支援国からの機材及び人員は、要請国によって任
are assigned under the command of the Response	命された対応指揮官の指揮に基づき配置される。
Commander appointed by the requesting Party.	機材又は人員は、支援国の同意を得て要請国の他
Equipment or personnel may be appointed under	の当局又は機関の指揮に基づき配置することが
the command of other authorities or	できる。
organizations of the requesting Party with the	
approval of the assisting Party.	
【略】	【略】
3. 2. OBLIGATIONS OF THE ASSISTING PARTY	3.2. 支援国の義務
The assisting Party shall keep in mind the	支援国は、次の各号に掲げる事項に留意しなけれ
following points:	ばならない。
Information on extent of assistance	支援範囲の情報
The assisting Party shall use its best	支援国は、要請された支援を遂行し、支援に応じ
endeavours to bring about the requested	ることが可能な範囲を決定するために、最善を尽
assistance and to decide to which extent the	くさなければならない。
request can be complied with.	-
Information on financial consequences	金銭的事項の情報
The assisting Party shall be prepared to give	支援国は、提供する支援の費用に係る情報を提供
information on the cost of the offered	する準備を行わなければならない。
assistance.	, - , ,,,, - , , , , , , , , , , , , ,
【略】	【略】
Information on termination of assistance	支援終了に関する情報
If the circumstances so demand, the assisting	状況に応じ支援国は、その支援を完全に、又は、
Party can fully or partly terminate its	部分的に終了することができる。支援終了に関す
assistance. Information on the termination	る情報は、要請国の権限ある国の当局に通知され
shall be communicated to the Competent National	なければならない。
Authority of the requesting Party.	
3. 3. REQUESTING FOR A PLACE OF REFUGE FROM A	3.3. 近隣締約国からの避難場所に係る要請
NEIGHBOURING CONTRACTING PARTY	
Request for a place of refuge from a neighbouring	近隣締約国からの避難場所に係る要請は、国内の
Contracting Party should only be submitted if	選択肢が十分に検討され、状況が異なるために自
national options have been fully explored,	国エリア内に適当な避難場所が存在しないとの
leading to a conclusion that due to different	結論に達した場合のみに発することが可能とす
circumstances there is no suitable place of	るべきである。近隣締約国内の避難場所を認める
refuge in its own area. Granting a place of	ことは、船舶、沿岸及び交通の安全を確保し、汚
refuge in a neighbouring Contracting Party would	染若しくはそのリスクを防止又は最小化するた
be the only solution to ensure ship, coastal and	めの唯一の対応策となるものである。金銭的考
traffic safety and to avoid or limit pollution,	慮、商業的理由又は対応資源の不足は、締約国か

or the risk of it. Financial considerations, commercial reasons or lack of response resources should not be regarded as a sufficient reason to request a place of refuge from another Contracting Party.

ら避難場所を要請するための適切な理由として 認めるべきではない。

In case the requested Party is not in a position to offer a place of refuge, the underlying reasons for this decision should be communicated to the requesting Party.

要請を受けた締約国が避難場所を提供すること が適当ではない場合には、この決定に係る理由を 要請した加盟国に通知するべきである。

A request by telephone shall always be followed by a written confirmation by a Competent National Authority of the requesting Party. The request shall be made by the designated Competent National Authority which has the power to take independent decisions concerning accommodation of ships in need of place of refuge. The request shall be addressed to the operational Contact Point for places of refuge as listed in Chapter 1. The existing format for pollution reporting (POLREP) is to be used when requesting assistance.

電話による要請は、要請加盟国の権限ある国家当局により文書確認が実施されなければならない。その要請は避難場所を必要とする船舶の収容に関し独立した決定を行うための権限を有する指定された権限ある国家当局によって行われなければならない。要請は第1章のリストに記載された避難場所に係るコンタクトポイントに発信されなければならない。現行の汚染報告書は、支援を要請する場合に利用可能である。

The requesting Party when contacting the requested Party should provide all information on their reasons for not accommodating the vessel in their own area. The requesting Party should also provide information according to IMO "Guidelines on Places of Refuge for Ships in Need of Assistance" (Resolution A. 949 (23) or as amended), including information on:

- ship details
- seaworthiness of the ship (in particular buoyancy, stability, availability of means of propulsion and power generation, docking ability etc.)
- nature and condition of cargo, stores, bunkers, hazardous and noxious substances (HNS), including the quantities
- pollution caused by the ship
- whether the master is still on board
- number of other crew and/or salvors and other persons on board, and an assessment of human factors, including fatigue
- whether the ship is insured, identification of the insurer and the limits of liability available
- provisions of the financial security required
- commercial salvage contracts already 船長又は船舶 concluded by the master or company of the ship サルベージ契約
- information on the intention of the master and/or salvor $% \left(1\right) =\left(1\right) \left(1\right)$
- any measures already taken.

Complementing information including a SITREP template and guidance for EU Member States can also be found in Places of Refuge - EU Operational Guidelines.

被要請加盟国にコンタクトを行う要請加盟国は 自国のエリア内に船舶を収容することができな い理由に係るすべての情報を提供するべきであ る。要請加盟国はまた、次の情報を含む IMO ガイ ドライン(改正された場合も含む)に基づく情報 を提供するべきである。

-船舶の詳細

一船舶の堪航性(特に浮力、安定性、推進器及び 発電機の利用可能性、入渠の可否等)

- 貨物、貯蔵物、燃料油、危険有害物質の量及び 性状

- -船舶により引き起こされる汚染
- -船長の乗船の有無
- -他の乗組員及び/又はサルバー及び他の乗船 者の人数並びに疲労度を含むヒューマンファク ターの評価
- -保険の有無、保険の特定及び適用される責任制 限
- 必要とされる金銭的保証の準備状況
- -船長又は船舶会社によって締結された商業的 サルベージ契約
- -船長及び/又はサルバーの意向に係る情報
- -既に実施された措置

状況報告書(Situation Report)様式を含む情報及びEU加盟国のガイダンスは「EUの避難場所に関する運用ガイドライン」により参照可能である。

Unless otherwise agreed, the costs of the action taken by a Contracting Party at the request of another Party shall be fairly calculated according to the law and current practice of the assisting Party concerning the reimbursement of such costs.

他の合意が行われない場合、締約国が他の締約国 の要請を踏まえ行った措置に係る費用、また、こ の費用の返済については、支援を行う締約国の法 令及び実行により適正に計算されなければなら ない。

In a place of refuge situation, the authorities of the Contracting Parties could in advance bilaterally discuss ways of fair sharing of costs not met by the international compensation regime, and without prejudice to the polluter pays principle. The general principles of costs of assistance in a pollution incident are described in Chapter 9.1.

締約国政府の当局は、 避難場所に係る状況につい て国際的な補償の枠組みには合致せず、汚染者負 担の原則に影響を及ぼさない費用の適正な負担 の方法について、事前に二国間で検討することが 可能である。汚染事件の支援に関する原則は9.1 に記載している。

4. ADMINISTRATIVE AND ORGANIZATIONAL SUPPORT OF 4. 要請国の管理上及び組織上の支援 THE REQUESTING PARTY

regarding administrative and organizational matters. The basic principles are implemented by each Contracting Party into their own national structures.

The HELCOM Response Manual sets the framework ヘルシンキ委員会海洋汚染対応協力マニュアル は、管理上及び組織上の事項の枠組みを規定す る。基本原則は、各締約国により国内の体制にお いて実施される。

4.1. GENERAL PRINCIPLES

4.1. 一般的原則 国際支援の準備

Preparedness for international assistance International formalities and administrative regulations differ from one Contracting Party to another. To avoid delays in operational assistance situations as well as in exercises. Contracting Parties should be prepared to receive international assistance and to facilitate cross-border movements. This applies

国際的な手続き及び管理に関する規則は、各国に より異なる。オペレーションに係る支援及び実行 の遅延を防止するため、締約国は国際支援を受 け、国境間の移動を促進する準備を行うべきであ

る。これは、次の各号に掲げる事項に適用する。

- state-owned aircraft
- state-owned ships and vehicles
- equipment
- personnel and experts
- oilv waste
- oiled animals
- privately owned resources under governmental
- -国が所有する航空機 -国が所有する船舶及び車両
- -機材
- -人員及び専門家
- -油性廃棄物
- -油汚染動物
- 政府契約の下にある個人所有資源

Each Contracting Party should prepare in advance a concept and a sufficient plan for receiving assistance smoothly. They contain e.g. checklists of important issues that the requesting Party must be able to provide to the assisting Party. EU Host Nation Support in Annex 4 can be used when compiling such national checklists.

各締約国は、円滑に支援を受けるための考え方及 び十分な計画を事前に準備するべきである。これ らには、一例として要請国が支援国に提供する重 要事項のチェックリストを含む。附属書4に規定 する EU ホストネーションサポートは、このよう な国のチェックリストを編集する際に利用可能 である。

THE REQUESTING PARTY SHOULD BE PREPARED TO PROVIDE THE ASSISTING UNITS FOR INSTANCE WITH:

- transport support
- administrative support
- logistic support
- communication means
- accommodation
- meals

要請国は、支援国に対し次の各号に掲げる事項を 準備するべきである。

- 輸送支援
- -管理上の支援
- -後方支援
- 诵信手段
- 一宿泊
- -食事

	□ 禁 ↓
- protective clothing	一保護衣
- medical treatment	一医療
- Liaison Officer.	一連絡調整要員
【略】	【略】
Customs matters	関税に係る事項
Authorities which are likely to be involved in	共同オペレーションに参画する可能性のある当
joint operations should observe instructions in	局は、このマニュアルの規定を確認するべきであ
the Manual. The Manual outlines the procedures	る。マニュアルは、関税手続きを含む共同オペレ
to be followed in joint operations, involving	ーションで従うべき手続きを概説する。
customs formalities.	
Normally there is a customs duty to be paid on	通常、共同オペレーションにおいて利用される物
goods that are used in joint operations. If the	品には関税の支払い義務がある。物品(例:処理
goods are not to be re-exported (e.g.	剤)が再輸出されない場合には、輸入税の軽減措
dispersants), they should enjoy relief from	置が適用されるべきである。物品(例:機械的回
import duties. If the goods are to be re-exported	収装置)が再輸出される予定がある場合には、一
(e.g. mechanical recovery means), they should be	時的な輸入調整が認められるべきである。
granted temporary importation arrangements.	
The customs authorities should be invited to	関税当局は、共同オペレーションに係る緊急時計
take part in the preparation of the contingency	画の準備への参画が求められるべきである。関税
plans for joint operations. They can help with	当局は、支援の実施及び受領の双方の手続き関連
problems of formalities in both dispatching and	事項を支援することが可能である。可能な場合に
receiving assistance. When possible, documents	は、書類は事前に準備するべきである。関税に係
should be prepared in advance. As well as customs	る書類と同様、輸送を予定する物品の詳細リスト
documents, detailed lists of goods to be	は、オペレーションの開始前に準備することが可
transported could be prepared before the	能である。
operation begins.	HE CO.O.
Civil liability for injuries or damage	傷害又は損害に対する民事責任
Disputes over injuries or damages should be	傷害又は損害に対する紛争は、民事責任の法令に
settled according to the rules of civil	基づき解決されるべきである。費用支払いの責任
liability. Responsibility for the payment of	は、悪意又は重大な過失がある場合を除き、要請
costs would rest with the requesting Party,	国において負担する。第三者との紛争が裁判所で
except in cases of ill intent, grave fault or	解決される場合には、要請国には常に情報の提供
gross negligence. The requesting Party should	が行われるべきである。要請国の領域内での事案
always be informed when a dispute with a third	については、要請国は支援国又は関係者を支援す
party is to be settled before a court of law. In	こうべては、安明国は又仮国又は国际日で又仮りるべきである。
such cases within the territory of the	2.15 (0)20
requesting Party, the requesting Party should	
help the assisting Party or person concerned.	
Medical treatment	医療
The requesting Party should always make	医療 要請国は、必要とされる場合、又は、求められる
	要請国は、必要とされる場合、又は、水められる 場合には常に、支援国の人員の医療について提供
provision for the medical treatment of personnel	
of the assisting Party, when necessary or	するべきである。
wanted.	売込むが条 車
Accommodations and meals	宿泊及び食事
As a general rule it is the responsibility of the	一般的ルールとして必要とされる場合、又は、オート・スート・スート・スート・スート・スート・スート・スート・スート・スート・ス
requesting Party to arrange accommodation and	められる場合には、支援国の人員に対する宿泊及び企事の課費は悪味民の表にでする。
meals for the assisting Party's personnel, when	び食事の調整は要請国の責任である。
necessary or wanted.	DELL TO STREET
Equipment and repairs	機材及び修理
The requesting Party should help the assisting	要請国は、支援国に対し支援国の人員により実施
Party to the best of its ability with maintenance	できない機材のメンテナンス及び修理について
and repairs of equipment which cannot be carried	最善を尽くすべきである。
out by personnel of the assisting Party.	
Press requests	報道に係る要請
In order to protect the assisting and other	支援を実施する人員及びその他の人員を規制さ

personnel from uncontrolled press requests, the requests should be controlled centrally through the requesting Party. Media requests addressed directly to the assisting Party or its forces should be coordinated with the requesting Party.

Exercises

Countries should relate to exercises with the same seriousness as if it was a live emergency situation with crucial need for assistance.

4. 2. ISSUES TO BE CONSIDERED IN JOINT OPERATIONS AT SEA

There are certain matters that the requesting Party needs to pay attention to in response operations at sea:

Clearances and permissions of aircraft, vessels and response equipment

The Contracting Parties should facilitate the granting of all clearances and permissions required for aircraft, vessels and equipment of other Contracting Parties to carry out the mission in their territory. This applies to joint pollution response operations, aerial surveillance operations and joint exercises.

Close-knit leadership of the response vessels A close co-operation and leadership between the response vessels and the SOSC of the requesting Party is necessary for the success of the operation.

Conditions of work and legislation

There are no legislative problems with the crew that works on vessels, because vessel and crew safety is under the responsibility of the ship master. Laws and regulations of the flag state related to crew safety and working hours are to be applied.

Smaller response vessels that cannot operate 24/7 must have the opportunity to enter a port near the response area to allow the crew to have necessary rest periods. These ports should not be publicly accessible. It must be kept in mind that these vessels may be contaminated.

Logistical requirements

It should be agreed whether the requesting Party will set up a central body that bundles and processes all logistical requirements, or whether they are the responsibility of the assisting Parties. Port stays of contaminated response vessels should be avoided as far as possible.

It might be useful to set up a shuttle service to the response area in order to provide the ships with equipment, personnel and spare parts. Large ships can easily stay at sea for a few days and they can also be supplied there. Smaller

れない報道から保護するために、報道に係る要請 は要請国を通じ調整が行われるべきである。支援 国又はその勢力に対して直接的に実施される報 道に係る要請は、要請国と共に調整が行われるべ きである。

訓練

国々は、支援を必要とする究極的な緊急事態にあると想定し訓練に参画するべきである。

4.2. 海上における共同オペレーションにおいて検討すべき事項

海上における対応オペレーションについて要請 国が留意すべき事項は、次の通りである。

航空機、船舶及び対応機材に係る許可 締約国は、その領域内での業務を実施するために 他の締約国の航空機、船舶及び機材に必要とされ るすべての許可に係る手続を促進するべきであ る。これは、共同汚染対応オペレーション、上空 監視オペレーション及び共同訓練に適用する。

対応船舶に係る緊密に連携したリーダーシップ オペレーションの成功には、対応船舶と要請国の 上級現場指揮官の間の緊密な協力及びリーダー シップが必要である。

作業条件及び法令

船舶及び乗組員の安全性は船長の責任の下で確保されるため、船舶上で作業を行う乗組員には法令上の問題は存在しない。乗組員の安全及び作業時間に関係する旗国の法令が適用される。

24 時間体制で運用することが不可能な小型対応 船舶については、乗組員が必要な休憩時間を取得 できるよう、対応エリア付近の港に入域する機会 を確保しなければならない。これらの港は、他の 住民によりクセス可能とするべきではない。これ ら船舶は、汚染されている可能性があることを認 識しなければならない。

物流に係る要件

すべての物流に係る要件を処理し、及び、対応する組織を要請国が設定するのか、支援国の責任とするのかについて合意を行うべきである。汚染された対応船舶を港に停泊させることは、可能な限り避けるべきである。

船舶に機材、人員及び予備品を提供するために定期便を設定することが有益である。大型船舶は数日間、海上に停泊することが容易であり、その場で供給を受けることが可能である。乗組員数の少ない小型船舶については、乗組員の休憩時間を確

units with less crew are in a different situation, as they must enter a port after one working day in order for the crew to have prescribed rest periods.

保するために1日の作業の後、港に入域しなけれ ばならないため、異なる状況にある。

Protected area for vessels to retreat

A protected area should be established near the operational area where response vessels can retreat in case of a bad weather. It should be noted that these vessels are contaminated and there is a risk that the contamination will spread to the environment.

船舶の避泊のための保護エリア

悪天候の場合に対応船舶が避泊可能な場所とし てオペレーションエリアの付近に保護エリアが 設定されるべきである。これらの船舶は汚染さ れ、当該汚染が環境に拡大するリスクがあること に留意するべきである。

Storage tanker

In order to avoid response vessels' long journeys with time loss and contamination of ports and coastlines, a storage tanker should be arranged by the Lead Country in the operation area. In particular the smaller response vessels need at early stages of the operation additional tank capacity in which the recovered oil can be transferred to.

貯蔵用タンカー

対応船舶の長時間の航海による時間的損失並び に港及び海岸線の汚染を防止するために、主導国 によりオペレーションエリアでの貯蔵用タンカ 一の調整が行われるべきである。特に小型の対応 船舶については、オペレーションの初期段階から 回収された油を移送する予備タンクが必要であ

4.3. 【略】

5.~8.【略】

5.~8.【略】

9. FINANCIAL ASPECTS

9.1. PRINCIPLES OF COSTS OF ASSISTANCE

The Regulation 9 of Annex VII of the Helsinki Convention23 defines the principles for reimbursement of cost of assistance as follows:

- a) If the action was taken by one Contracting Party at the express request of another Contracting Party, the requesting Party shall reimburse to the assisting Party the costs of the action of the assisting Party. If the request is cancelled, the requesting Party shall bear the costs already incurred or committed by the assisting Party.
- b) If the action was taken by a Contracting Party on its own initiative, this Party shall bear the costs of its action.
- c) The principles laid down above in subparagraphs a) and b) shall apply unless the Parties concerned otherwise agree in any individual case.

The costs of the action taken by a Contracting Party at the request of another Party shall be fairly calculated according to the law and current practice of the assisting Party concerning the reimbursement of such costs.

The provisions of the Regulation 9 shall not be interpreted as in any way prejudicing the rights of the Contracting Parties to recover from third parties the costs of actions taken. These response actions deal with other applicable provisions and rules of international law and national or supra-national regulations.

4.3. 【略】

9. 金銭的事項

9.1. 支援費用に係る原則

ヘルシンキ条約附属書VII第9規則は、支援費用の 返済に係る原則を次のように規定する。

- 他の締約国の要請に基づき締約国による措 置が行われた場合、要請国は支援国に対し支援国 の措置に要した費用を弁済しなければならない。 要請が取り消された場合、要請国は支援国が既に 実施した措置に要した費用を負担しなければな らない。
- b) 自らの意思により締約国によって措置が行 われた場合には、この国は措置に要した費用を負 担しなければならない。
- c) 上記サブパラグラフ a) 及び b) に規定する原 則は、個々の事案において関係国が他に合意しな い限り、適用する。

他の国の要請に基づき締約国により行われた措 置に要した費用は、本費用の弁済に関し、支援国 の法令及び実行に基づき公正に計算されなけれ ばならない。

ヘルシンキ条約附属書VII第9規則の規定は、行わ れた措置に要した費用を第三者から回収する締 約国の権利を侵害するものとして解釈してはな らない。これらの対応措置は、その他の適用され る国際法及び国内法又は超国家的な規則の規定 に対応する。

The Governments of the Contracting Parties | 締約国政府は、要請国と支援国の間の金銭的関係

should use the following guidelines, when	を決定する場合には、次の各号に掲げるガイドラ
deciding the financial implications between the	インを利用するべきである。
requesting and the assisting Party/Parties:	
a) The calculation must be based on cost price.	a) 計算は、費用価格に基づくものとする。これ
That is a fundamental principle for the	は、要請国から支援国に支払われるべき費用の計
calculation of costs which should be paid by the	算に係る基本原則である。
requesting Party to the assisting	
Party/Parties.	
b) An assisting Party shall at any time be	b) 支援国は、常時、要請国に対し支援に要する
prepared to give the requesting Party a	費用の予備的見積もりを提示する準備をしなけ
preliminary estimation of the costs for the	ればならない。
assistance.	
9.2.【略】	9.2. 【略】
10. 【略】	10. 【略】
Annex 1 ~Annex 12 【略】	附属書1~附属書12【略】

7 おわりに

本稿においてはバルト海を対象とするヘルシンキ委員会に係る文書について避難場所に関係する規定の整理を行った。欧州周辺海域は避難場所に関係する幾度の事故対応を経験していることから、ヘルシンキ委員会の対応は世界で設定される他の地域海計画において避難場所に係る対応及び協力枠組みを検討する場合のモデルと位置づけることが可能である。本稿を礎に更に避難場所に係る研究を深めることとしたい。

2 Available at:

 $https://www.unep.org/explore-topics/oceans-seas/what-we-do/regional-seas-programme\ (16\ May\ 2023)$

- 3 山地(2015), supra note 1, 75。
- 4 Available at: https://helcom.fi/about-us/convention/ (24 May 2023)
- 5 スカゲラク海峡とカテガット海峡の間のユトランド半島最北端の岬。 Available at: https://ejje.weblio.jp/content/skaw (13 July 2023)
- 6 Supra note 4.
- 7 Available at:

https://helcom.fi/helcom-at-work/recommendations/valid-recommendations/ (24 May 2023)

8 Available at:

https://helcom.fi/action-areas/response-to-spills/manuals-and-guidelines/ (10 May 2023)

9 Draft revised HELCOM Response Manual, 1.

Availabel at:

https://portal.helcom.fi/meetings/HELCOM%2042-2021-746/MeetingDocuments/5-12% 20Draft%20revised%20HELCOM%20Response%20Manual.pdf (10 may 2023);

Outcome of HELCOM 42-2021, 5.51, 5.53, 13.

Availabel at:

https://portal.helcom.fi/meetings/HELCOM%2042-2021-746/MeetingDocuments/Outcome%20of%20HELCOM%2042-2021.pdf (10 May 2023)

¹ 山地哲也,「船舶の避難場所に関する研究—IMO ガイドラインの評価と日本の対応—」,神戸大学大学院海事科学研究科博士論文,2015,75-77。